

④



生き生き韓国文化

News Focus

今月の韓国ニュース

- 尹大統領の来日
- 週69時間勤務をめぐる議論

今月のK-DRAMA&POP

- ドラマ：ザ・グローリー
- 歌：桜エンディング

韓国の最新情報

- 相次いで流行っている日本の曲

交流員の日本生活

- 北海道旅行

4月の韓国ニュース

01



尹大統領が初訪日

韓国政府は3月6日、徴用問題を巡り韓国の財団が日本企業の賠償を肩代わりする解決策を発表し、尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領はその10日後の

16日に東京で岸田首相と首脳会談を行いました。

日韓首脳が相手国を相互に訪問するシャトル外交は、2011年10月の野田佳彦首相(当時)の訪韓、同年12月の李明博(イ・ミョンバク)大統領(当時)の訪日を最後に途絶えていました。

韓国外交部は21日、尹大統領による先の訪日を受け、岸田文雄首相の年内の韓国訪問など日韓首脳の「シャトル外交」の継続と両国の高官級交流・対話の活性化に取り組むと明らかにしました。

週69時間勤務をめぐる議論

3月6日、韓国の雇用労働部は労働者が週に52時間まで勤務できるようにした現行の制度を変更して、繁忙期は最大69時間働けるように許容する内容の

労働法改正案を立法予告しました。週単位の延長労働時間管理単位を「月または年単位」に拡大して弾力的な勤務を可能にする内容が骨子です。

ですが、若者の間では「まともな補償なく長時間労働を強要するもの」などと反発する世論が広がっています。これに、尹大統領は、労働時間制度の見直しについて「週60時間以上の勤務は健康保護の観点から無理だ」という考えに変わりはない」と述べました。



02

4月のK-POP&DRAMA



バスケーバスケー

「桜エンディング」

韓国では「桜年金(桜が咲く時期になると著作権料が相次いでたまる)」ともいわれるこの歌。

韓国人が一番好きな春の歌です！



NETFLIX

「ザ・グローリー～輝かしき復讐～」

いじめを受けた高校時代、そのときの加害者たちを、毘にかけてゆくストーリーのこのドラマ。

昨年末の配信開始から、世界中でNO.1を獲得している話題作です。

4月の韓国語一言

취향저격



チヒャンチョギョッイダ

취향저격이다

直訳：好みを狙撃する

意味：好みにぴったりだ、（人に対して使うと）ドンピシャだ

[例文]

イゴワンジョンネ チヒャンチョギョッイヤ

이거 완전 내 취향저격이야!

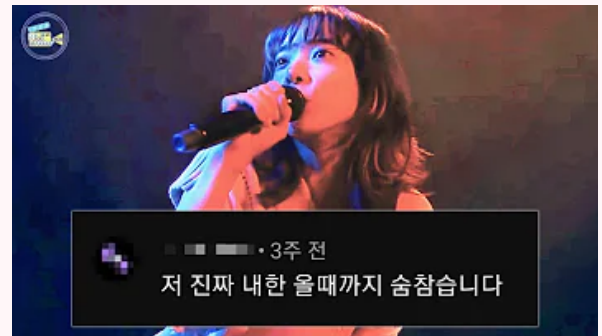
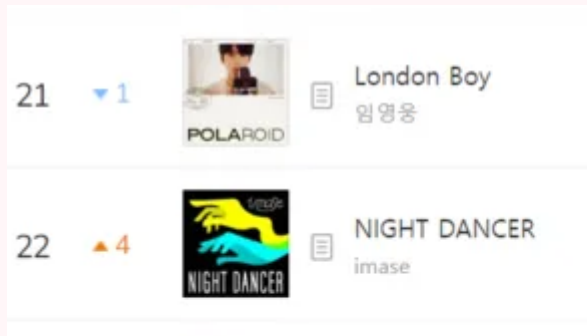
これ、完全に私の好みにぴったり！

チヨナムジャワンジョンネ チヒャンチョギョッイヤ

저 남자 완전 내 취향저격이야!

あの男、完全に私のドンピシャ！

YouTubeショートを通じて始まった JPOP烈風



最近の韓国を代表する音源ストリーミングサービスサイト「メロン」のランキングを見ますと、日本の歌手IMASEの「ナイトダンサー」が上がっています。J-POPがメロンのトップ100に上がったのは今回が初めてです。過去にも日本の音楽が人気を集めることはありましたが、ほとんどが人気アニメの主題歌でした。

このような人気の背景にはユーチューブショート、ティックトック、インスタグラムリールスをはじめとする映像プラットフォームです。IMASEの他にもあいみよんの「愛を伝えたいだとか」、ハニーワークスの「可愛くてごめん」のような歌を活用した各種チャレンジがTikTokで高い再生数を記録し、歌も人気を集めています。

他にも日本ならではのエモさを感じられるということで、藤井風の「死ぬのがいいわ」、優里の「ベテルギウス」だけでなく、STAY WITH MEやPLASTIC LOVEなどのシティポップがユーチューブのショートを通じて知られ、韓国の若い世代の間で愛されています。

20代半ばの私はTikTokよりはインスタとユーチューブに慣れているので、チャレンジがメインになる「可愛くてごめん」、「ナイトダンサー」よりは藤井風やシティポップなどが周りでもっと流行っていると感じます。TikTokに慣れている10代の場合は、私とは逆かも！一方、あいみよんの「愛を伝えたいだとか」はあらゆるプラットフォームで愛されている歌なので、年齢問わず人気を集めています。日本ならではの青い青春を感じられる歌やビジュアルという点で、韓国の若い世代に大好評！（2023年3月現在、韓国で一番人気の日本の歌手なのかも！）

交流員の日本生活

北海道紀行文



先月、旅行で札幌から網走、函館まで行ってきましたが、札幌に住んでいる友達からは「でっかい道でよくあっちこっち行ったね」と言われました。友達の言う通り、北海道は県のレベルではなく、韓半島みたいなでっかい面積でした。おいしいもの、大自然の恵まれた北海道で、私が接して驚いた日本文化についてご紹介します！

① 私を취향저격した「シメパフェ」



飲んだ後の「締めのラーメン」ならぬ「締めのパフェ」が札幌の夜の定番となりつつあることをご存知でしょうか。季節にかかわらず、ここ数年、札幌市民の間だけでじわじわと広がり、一つの食文化に定着したそうです。お酒とデザート、おしゃれなものが大好きな私を취향저격しました！

② 北海道は今、「根開き」の時期

雪国に春が来る証拠は「根開き」だそうです。根開きとは樹木の根元の雪が周囲より早く解け、すり鉢状の穴になり、穴から木が生えているように見える現象を意味します。

例年より積雪量が少なく、温かい影響で市内では雪全滅！山の方では、根開きが始まっていました。そのせいで、流氷を見に行った網走でもただ青いオホーツク海だけ見てきました…



③ 祖国の味がする「スープカレー」



札幌のグルメとして欠かせないのがスープカレーですよね。辛いスープでご飯を入れて食べるのが、まるで韓国の「クッパ」みたいな感じでした。しかも、函館で食べたのは(2番目の写真)クッパの器である土鍋とそっくりでした！